

1 章 公園植栽工

- 1.1 公園植栽工
- 1.2 公園除草工

1章 公園植栽工

1.1 公園植栽工

1. 適用

公園の植栽作業及び移植作業に適用する。

2. 数量算出項目

植栽（植樹）、支柱、移植、地被類植付、張芝を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、樹木の種類、支柱の種類、施工場所とする。

(1) 数量算出項目区分一覧表

項目	区分 BIM/CIM モデル	属性情報					
		樹木種類	支柱種類	施工場所	単位	数量	備考
植栽（植樹）	B	○	×	○	本		
支柱	B	×	○	○	本・m		
移植	B	○	×	○	本		
地被類植付	B	○	×	○	鉢		
張芝	B	○	×	×	m ²		

BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする

(2) 樹木の種類区分

植栽 (植樹) 移植	低木	樹高 50 cm 未満
	中木	樹高 50 cm 以上 100 cm 未満
		樹高 100 cm 以上 200 cm 未満
		樹高 200 cm 以上 300 cm 未満
	高木	幹周 15 cm 未満
		幹周 15 cm 以上 25 cm 未満
		幹周 25 cm 以上 40 cm 未満
		幹周 40 cm 以上 60 cm 未満
	幹周 60 cm 以上 90 cm 未満	
地被類植付		各種
張芝		各種

- 注) 1. 低木には、株物、一本立ちを含む。
 2. 高木とは樹高3m以上とする。また、幹周とは地際よりの高さ1.2mでの幹の周囲長とし幹が枝分かれ（株立樹木）している場合の幹周は、各々の総和の70%とする。
 3. 土壌改良材を使用する場合は、植栽（植樹）1本当り土壌改良材使用量を算出すること。
 4. 移植の場合は、根巻・幹巻の有無を区分する。また、運搬を伴う場合は、運搬距離（km）を算出する。
 5. 植栽（植樹）及び移植に伴い、客土、埋戻土が別途必要な場合は、その数量を算出する。また、残土の搬出が必要な場合は残土量を算出する。

6. 地被類植付は下記の仕様に適用する。

- 1) ささ類、木草本類、つる性類でコンテナ径12cm以下
- 2) 高さ(長さ)60cm以下の地被類

7. 張芝は、芝種類の他、ベタ張・目地張等の施工方法、及び芝串の有無についても区分する。

なお、目地張を行う場合は、100m²当り芝使用量についても算出する。

(3) 支柱の種類区分

項目	区分	規格・仕様	単位	備考
支柱	中木	二脚鳥居 添木付 樹高250cm以上	本	
		八ッ掛(竹) 樹高100cm以上	本	
		添柱形(1本形・竹) 樹高100cm以上	本	
		布掛(竹) 樹高100cm以上	m	
		生垣形 樹高100cm以上	m	
	高木	二脚鳥居 添木付 幹周30cm未満	本	
		二脚鳥居 添木無 幹周20cm以上30cm未満	本	
		三脚鳥居 幹周30cm以上60cm未満	本	
		十字鳥居 幹周30cm以上60cm未満	本	
		二脚鳥居組合せ 幹周40cm以上75cm未満	本	
		八ッ掛(三脚)(竹) 幹周20cm未満	本	注) 2
		八ッ掛(丸太) L=4m 幹周20cm以上35cm未満	本	
		八ッ掛(丸太) L=6~7m 幹周30cm以上75cm未満	本	

注) 1. 単位「本」は、支柱を設置する樹木本数、「m」は、支柱設置延長を算出する。

2. 樹木1本当り竹(支柱材)必要量について算出する。

(4) 施工場所

植栽(植樹)、支柱、移植、地被類植付を日本庭園で施工する場合、区分して算出する。

1.2 公園除草工

1. 適用

公園の除草及び集草、積込・運搬に適用する。
ただし、景観を重視し、かつ除草回数が1回/月を越える場合については適用除外とする。

2. 数量算出項目

公園除草の面積を算出する

3. 区分

区分は、作業内容とする。

(1) 数量算出項目区分一覧表

項目	区分	BIM/CIM モデル	属性情報					
			作業内容	施工場所	単位	単位	数量	備考
公園除草		B	○	○	m ²	本		

BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする

(2) 作業内容区分

除草の面積を作業内容（除草、抜根、集草、積込・運搬）ごとに区分して算出する。

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

(1) 除草は施工場所毎に下記の工法に区分して算出する。

除草工法

- 人力除草
- 人力抜根
- 機械除草Ⅰ（肩掛式）
- 機械除草Ⅱ（ハンドガイド式+肩掛式）

(2) 公園外への運搬が必要な場合は、運搬路に応じて、運搬距離（片道）（km）を算出する。

5. 参考

除草工法の選定は、下記を標準とする。

工法の選定フロー

